

## 戦争を体験した人々とくらし ー前橋の様子を取り上げてー (小学校6年社会科)

### 1 はじめに

15年にもおよぶ戦争の中で、我が国は中国をはじめとするアジア諸国に多大な損害を与えてしまった。また同時に、国内では本土空襲、さらには原爆を投下されるなどの惨劇を味わうこととなった。

本単元では、学習の複雑化を図ることにより、この戦争を多面的にとらえられるようにする。そして、その一つとして「前橋の様子」(国民の生活)を取り上げていく。一つの地域だけから現在の様子を把握するのは難しい面もあるが、児童にとって身近な地域を調べることは、歴史を現在の生活や自分自身と結びつけて考えることにもつながり、有効だと考える。

### 2 指導計画

経過時	主な学習活動	支援及び留意点
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦争中の写真や資料をもとに、知っていることや気付いたことを話し合う。</li> <li>○学習課題をたてる。</li> <li>日本が世界の国々と戦った戦争とは、どんな戦争だったのだろうか。</li> <li>○調べる計画をたてる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アジアでの戦いの様子や、国民の生活が伝わりやすい写真などを用意し、調べようとする意欲を高める。</li> <li>※資料③使用</li> <li>○調べたいもの(学習のめあて)別にグループを作り、計画をたてる。</li> </ul>
調べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとに調べ学習を進める。(予想される課題)なぜこのような戦争が起きたのか</li> <li>・中国での戦いの様子</li> <li>・アメリカとの戦い</li> <li>・原爆の恐ろしさ</li> <li>・国民の生活(前橋の様子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べる方法については助言を与えながら、いろいろな角度から調べられるようにしたい。</li> <li>※資料①②④⑤を該当班に与え、調べ学習の手助けとする。</li> <li>○発表の手助けとなる様な発表原稿を用意させることにより、自分たちで調べたことが簡潔にまとめられるようにする。</li> <li>○発表原稿をまとめ、必要な資料などの作成をする。</li> </ul>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとの発表や話し合いをもとに「どんな戦争だったのか」まとめる。</li> <li>○これまでの学習を通しての感想などを発表しあひながら、学習のまとめをする。(体験者の話を聞く)</li> <li>※その3時を実践例としてとりあげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表内容については、難しくならないように注意し、絵や図を用意するなどの工夫を促す。</li> <li>※資料を用いて児童による発表</li> <li>○1つ1つのグループの発表ごとに「どんな戦争だったのか」まとめていき、戦争に対する自分たちの考えを深めさせていく。</li> </ul>

### 3 資料について

- ・資料①写真「出征兵士の見送り(前橋市)
- ・資料②写真「千人針」
- ・資料③写真「前橋の戦災」
- ・資料④写真「防火訓練」
- ・資料⑤冊子「灯火管制指導参考」

### 4 授業実践例

主な学習活動	支援及び留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○今までの学習を振り返る。</li> <li>○本時の発表グループの課題を確認する。</li> <li>国民の生活はどうだっただろうか。(前橋の様子を中心に)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「これまでにこんな発表があったよわ」ていどに簡単に前時までの学習を振り返らせ、戦争についてどんな発表があったか思い起こさせる。</li> <li>○本時はこれまでの学習のまとめであることを知らせ自分たちで調べてきたことと本時の発表を関連させて考えられるよう助言する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○前橋の様子を中心とした国民の生活について調べた班の発表を聞く。</li> <li>[予想される発表の内容]</li> <li>・食料事情・子供たちの生活</li> <li>・空襲について・人々の協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表グループが作った発表原稿をあらかじめ児童に配布しておき、学習へ関心を促す。</li> <li>○発表グループは分担して発表するが、その際自分なりの感想や意見が入れられるよう助言しておく。</li> <li>※使用した資料についてもコメントさせる。</li> <li>○分かったことや疑問に思ったことを簡単にメモしてもいいことを告げ、発表がしつかりと聞けるようにする。</li> <li>○前時までの調べ学習の時のグループ別に座り、話し合いは個人的な意見だけでなく、自分たちで調べた内容と関連させたものとさせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合ったことを発表しあい、これまでの学習も含めて「どんな戦争だったのか」話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループごとに出される感想が、直接「どんな戦争だったか」という内容と関わってほしいので、全体で今までの学習を振り返りながら確認する。</li> <li>○前時までの学習でも戦争の恐ろしさは十分に分かっていると思われるので、ここでは「前橋でもこんなことがあったのか」というような身近な問題として考えられるような話し合いにしたい。</li> <li>○素直に感想を書かせると共に、児童が頑張っていた点(調べる過程・発表の時)を教師側からも伝え、充実感を持たせたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りカードをまとめる。</li> </ul>	

### 5 まとめ

小学校の児童にとって、文章による資料はやや難しい面がある様に思われる。漢字を読みとるのが困難だということもあるが、それ以上に自分の生活と結びつけて考えづらいうである。

しかし今回のように写真や絵による資料では、一目で「わー、すごい」「こんなにひどかったのか」と素直に感想を持ち、当時の様子を想像することができる。また、今回の内容は時代的にも現在に近く、その資料をもとに児童の祖父母や近隣のお年寄りから、さらに深い内容のお話を聞くこともできた。その結果、空襲の写真から「戦争の恐ろしさ」を感じ取るだけでなく、防空演習などの資料から「協力して生活していた当時の人々の姿」をつかみ取ることもできた。

授業の中で教師が資料を提供して、その1時間の中で児童に考えさせる方法も大切であるが、あらかじめ児童に資料を渡しておき、それをもとに児童自身が調べていく(聞き取り調査)方法も高学年の児童にとっては効果的であった。